

会報

一般社団法人 北海道電業協会

No.206
2025.06



会 報

2025. 6
No.206

目 次

「令和7年度の取り組みについて」	
札幌市都市局建築部設備担当部長 齋藤 健	1
(一社)北海道電業協会第59回定時総会	
(一社)日本電設工業協会北海道支部第69回定時総会	2～3
定時総会会長挨拶	
(一社)北海道電業協会 会長	
(一社)日本電設工業協会北海道支部 支部長 藪下 裕己	4
令和7年度 北海道電業協会スローガン	5
(一社)北海道電業協会 役員	
(一社)日本電設工業協会北海道支部 役員	6
就任ご挨拶	
株式会社 関電工 理事北海道支店長 松尾 浩	
株式会社 きんでん 執行役員北海道支社長 梅木 卓	
株式会社 北弘電社 代表取締役社長 佐藤 友昭	7～8
令和6年度 電気設備施設見学会	9
「働き方改革」推進に向けた申し入れ活動	10
令和6年度 技術講習会	11
令和6年度 電設業関連4団体懇談会	12
令和6年度 経営者懇談会・セミナー	13
令和7年度 技術・安全衛生基礎教育講習会	14
地区協会 Pickup「技術講習会開催する！」～苫小牧・釧根電業協会～	15
シリーズ 1/179 便り	
・自然と再エネが拓く 持続可能な未来都市 ～石狩市～	
石狩市長 加藤 龍 幸	16～17
・未来へ続く 笑顔あふれるまち 美深 ～美深町～	
美深町長 草野 孝 治	18～19
シリーズ 地区協会便り	
函館電設業会 会長 平 沼 冠 三	20～21
シリーズ 現場からこんにちは ～北電力設備工事(株)・協信電気工業(株)～	22～23
シリーズ 私のいちおし	
拓北電業株式会社 代表取締役社長 鈴木 暁 彦	24
厚生事業活動報告 ～歌唱部会～	25
業界だより、理事会・三役会議・委員会報告	26～29
常設委員会・部会組織と役員名簿	30～31
事務局日誌	32
編集後記	



「令和7年度の取り組みについて」

札幌市都市局建築部設備担当部長

齋藤 健

初夏の候、北海道電業協会の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。また、平素より札幌市のさまざまな取り組みに対しご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年度は、札幌市を含む北海道が「GX金融・資産運用特区」に決定されるとともに、「国家戦略特区」の指定を受けるなど、GX産業のサプライチェーン構築・雇用創出および新技術やイノベーションを生み出すスタートアップの創出・育成に向け、大きく動き出した1年となりました。

今後は北海道・札幌市が日本の再生可能エネルギーの供給基地となり、更には世界中からGXに関する資金・人材・情報が集積するアジア・世界の金融センターの実現に向けての挑戦を続けていく次第です。

札幌市では、2023年12月に「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン2023」を策定しており、その中で「都市基盤を適切に維持・更新し、最大限利活用するまち」を基本目標の一つとして掲げています。都市局では、この目標の達成に向け、市有建築物の計画的な保全や市営住宅の建替・維持更新を進めているところです。

昨年度は、市営住宅発寒団地の新築などに着手しましたが、今年度は（仮称）藻岩高等学校・啓北商業高等学校再編校の新築、菊水分庁舎の改修なども実施予定です。

また、脱炭素社会に向けた取り組みとしては、市有施設でのLED照明器具への更新を引き続き行うほか、太陽光発電設備の設置も進めてまいります。札幌市は令和4年に環境省が所管する脱炭素先行地域に選定されました。その取り組みの一

環として既存の学校5校へ太陽光パネルの設置を行う予定ですが、従来の屋根置き式ではなく軽量フレキシブルパネルを壁に貼る方式を初めて採用します。

札幌市では、今年3月に「さっぽろ建設産業活性化プラン2025」を策定いたしました。建設産業を取り巻く環境は、前プランである「さっぽろ建設産業活性化プラン」策定以降も更なる人手不足の進行や物価高騰などにより厳しい状況が続いています。特に人手不足については、職員の高齢化や生産年齢人口の減少などにより、より一層厳しくなることが予想されます。このため建設産業においても新たな人材確保に向けた取り組みを進めるとともに、将来の担い手不足への備えにも繋がる生産性向上を加速していくことが求められています。

以上のことから、建設産業の体制確保に向け、今後も取り組みを拡充・加速していくため2期目の計画を策定することとしたものです。

プランの方向性の一つに「担い手の確保・育成の強化」を掲げて「若手人材の育成強化」の取り組みとして、業務等で必要となる「施工管理技士」や「電気工事士」などの資格の取得費用の一部を助成する制度を新設しましたので、是非ご活用いただければと思います。

最後に、貴協会が今後一層のご発展を遂げられますことと、併せまして会員の皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



令和7年5月27日(火)午後3時30分より札幌グランドホテルにおいて、(一社)北海道電業協会第59回・(一社)日本電設工業協会北海道支部第69回定時総会が開催され、会員代表者のほか事務局、関係者を含め56名が出席しました。

定時総会は開会宣言の後、議事に先立ち協会功績者が表彰され、感謝状と記念品が授与されました。功績者は次のとおりです。

○ 功績者

- ・株式会社 でんこう
営業部次長 藤井 大樹 様
- ・橋本電気工事株式会社
営業本部部长 細野 隆平 様



役員・功績者を囲んで

開会にあたり藪下会長・支部長から、電設業界を取り巻く情勢や協会事業運営についての挨拶があり(4ページ参照)「この先も『自信と誇りをもって、そして安全に働ける』そうした環境を構築していかなければならない。これまで以上に会員相互の信頼と連携を深めつつ、業界の持続的な

成長、発展に向けて引き続き力強いご支援、ご協力をお願いします」と、会員に向け協力を呼び掛けました。

引き続き議長として議事の運営に入り、最初に出席状況報告があり、会員代表者42名、委任状提出者18名、合計60名の出席により総会の成立が宣言されました。

続いて、議事録署名人に石田 貴久氏(株でんこう)と島田 光優氏(住友電設(株)北海道支店)を選出し、議案の審議を行いました。

- ・第1号議案 令和6年度 事業活動の報告
 - ・第2号議案 令和6年度 収支決算の件および会計監査報告
 - ・第3号議案 令和7年度 事業計画の報告
 - ・第4号議案 令和7年度 収支予算の報告
- 以上の議案は原案どおり了承、承認されました。

・第5号議案 令和7年度 スローガンの採択
当協会の運営および事業実施の基本として、諸課題の克服と、多様な人材が“いきいき”と活躍する魅力と活力あふれる電設業界を目指したスローガンが稲津総務委員長より提案され、全会一致にて採択されました。

・第6号議案 任期満了に伴う役員改選の件
定時総会にて、新たに理事、監事が承認された後、直ちに理事会を開催。新役員が選任されました。(新役員は6ページ参照)

以上をもって、北海道電業協会定時総会は終了しました。

引き続き、(一社)日本電設工業協会北海道支部定時総会が開催されました。藪下支部長が同じく議長を務め議事を運営しました。

会員の出席状況は、会員代表者27名、委任状提出16名、合計43名の出席により総会の成立が宣言され、各議案を審議しました。

- ・ 第1号議案 令和6年度 事業活動の報告
- ・ 第2号議案 令和6年度 収支決算の件および会計監査報告
- ・ 第3号議案 令和7年度 事業計画の報告
- ・ 第4号議案 令和7年度 収支予算の報告
- ・ 第5号議案 任期満了に伴う役員改選の件
第1号～第4号の各議案とも、原案どおり了

承、承認されました。第5号議案は、同支部は北海道電業協会と一体で運営されていることから、北海道電業協会にて改選された理事の中から、役員の構成ならびに推薦役員を決めることが承認されました。

以上をもって、(一社)日本電設工業協会北海道支部定時総会は終了しました。



新任役員挨拶

合同懇親会

定時総会に引き続き、同ホテル別館2階のグラウンドホール（東）において、合同懇親会が行われました。

冒頭、藪下会長・支部長より開会にあたり「我々業界の自助努力だけでは、乗り越えることができない課題も多いのが現実である。労働環境を大きく変えていくためには、発注者・受注者という上・下の関係性ではなく、社会インフラを守り抜く、同じパートナーとしての関係性をより強めながら、会員相互の信頼と連携のもと、関係官公庁・関係団体の皆さまとのコミュニケーションをさらに深めて、一步一步着実に諸課題に取り組んでいきたいと考えている。今後も変わらぬご指導、ご鞭撻をお願いします」と挨拶がありました。



藪下会長・支部長

が、

続いて、ご来賓の国土交通省北海道開発局営繕部長 滝本 悦郎 様、経済産業省北海道産業保安監督部長 山下 宜範 様、防衛省北海道防衛局調達部長 安部 浩也 様、北海道建設部建築局長 飯沼 善範 様よりそれぞれご祝辞をいただき、札幌市都市局長 釜石 睦由 様のご発声による乾杯で開宴となりました。



また、ご来賓には、(一社)北海道設備設計事務所協会、(一社)北海道建築士事務所協会、(一社)北海道空調衛生工事業協会、北海道電気工事業工業組合、札幌弱電設備業協同組合、日本電気協会北海道支部、札幌電気工事業協同組合、(一社)札幌電設業協会、(株)北海道建設新聞社など、官公庁、業界団体より27名の多数の方々のご臨席をいただき、終始和やかに歓談し、会員との懇親が深められました。

最後に当協会の萩本 哲夫副会長・副支部長は「本日採択したスローガンのもと、会員とも力を合わせ諸活動を推進していく。今後も変わらぬご指導ご支援をお願いします」と挨拶し、閉杯により懇親会はお開きとなりました。

○ 挨拶されたご来賓



滝本部長 山下部長 安部部長 飯沼局長 釜石局長



(一社)北海道電業協会第59回定時総会並びに (一社)日本電設工業協会北海道支部第69回定時総会

(一社)北海道電業協会 会長
(一社)日本電設工業協会北海道支部 支部長

藪 下 裕 己

ただいまご紹介をいただきました、藪下です。

北海道電業協会第59回定時総会、ならびに日本電設工業協会北海道支部第69回定時総会の開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、会員の皆さまには、何かとご多用の中、本総会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また日頃より当協会の諸活動に対しまして、多大なるご支援、ご協力を賜っておりますことにこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

後ほど第1号議案にてご報告させていただきますが、昨年度の事業活動を振り返りますと、コロナ禍からの脱却以降、事業活動は正常化を取り戻し、育成・研修事業や調査・研究事業など、予定していた活動を滞りなく行うことができました。

とりわけ昨年9月には、日本電設工業協会の会員大会が、9年ぶりに北海道で開催されました。参加者が500名規模の大会であり、開催地として総力を挙げた取り組みが必要でありましたが、会員各社の皆さま、各地区電業協会の皆さまから絶大なご支援を賜り無事、成功裡に終えることができました。この点につきましても、あらためて感謝申し上げる次第です。誠にありがとうございます。

先ほどは2名の方の協会功績者表彰を行いました。受章された細野様は、広報委員会委員として、そして藤井様は、厚生委員会委員として、長年にわたり協会活動に多大なるご尽力を賜りました。あらためて心から感謝申し上げますとともに、益々のご活躍を心より祈念しております。

さて、最近の国内経済を取り巻く環境としまして、ウクライナ情勢などを始めとした国際紛争の長期化や、米国の関税引き上げによる世界的な価格競争の激化などが今後の国内経済を見通す上で、大きな不安定要因となっています。加えて、著しい人口減少と急速な少子高齢化の進展、地球温暖化による気候変動などが一因となって、暮らしや産業へ影響を及ぼすなど、過去に経験したことのないような時代が到来しています。

そうした中、私ども電設工事業界におきましては、若年技術者をはじめとした人材の確保や育成の問題、資機材価格の高騰などによる建設コストの上昇、また激甚化する自然災害への対応など、様々な課題が浮き彫りになってきています。さらに建設業の時間外労働に対する上限規制の適用か

ら1年が経過し、長時間労働の是正、4週8閉所の実現などをはじめ「働き方改革」に向けた対応への加速化が求められているところです。

加えて、カーボンニュートラルの実現を目指した取り組みや、デジタル・トランスフォーメーションの活用など、業界を巡る環境は大きく変わろうとしています。このような事業環境の変化に的確に対応し、電設工事業界のさらなる成長・発展へと、次なる時代に繋げていく、そうした活動が重要となっているところです。

こうしたことを踏まえ、本日の総会では、第5号議案にて「多様な人材が“いきいき”と活躍する魅力と活力あふれる電設業界を目指す！」このことをスローガンとして掲げ、4つの重点項目を定め、活動していくことを皆さまにお諮りさせていただくこととしました。

また、本年は役員改選期にあたるため、第6号議案にて、向こう2年間の協会役員選任について、本総会に上程させていただいておりますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

経年化による社会インフラ設備の急速な劣化が、たびたび発現、報道される昨今において、私ども電設業界は、この社会インフラを守り抜き、豊かな生活と円滑な経済活動を支え未来へとつなげていく。そうした重要な役割、責任の一翼を担っています。昨年、建設工事の品質や担い手確保を目的に第三次・担い手3法が施行され、建設労働者の処遇改善、働き方改革の推進、適正な工期・工費の実現などに向け、大きく動き出しました。

これを追い風に、発注者の方々の理解・浸透に努め、電工職種のリブランド化を図り、この先も「自信と誇りをもって、そして安全に働ける」そうした環境を構築していかなければなりません。これまで以上に、会員相互の信頼と連携を深めつつ、業界の持続的な成長、発展に向けて皆さまの引き続きの力強いご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、本日は例年同様、二つの総会を併せて開催させていただきます。スムーズな進行にご協力いただきますとともに、会員、各企業の皆さまの益々のご発展とご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げて、定時総会開催にあたっての挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。



令和7年度 北海道電業協会 スローガン

多様な人材が“いきいき”と活躍する 魅力と活力あふれる電設業界を目指す！

1. 働き方改革をより一層進め、魅力と活力あふれる業界を目指そう

- ・働き方改革を深化させ、「多様な人材の確保・育成」及び「ソフト・ハード両面からの生産性向上」を目指す。
- ・現場における「適切な工期設定と工程管理」の確保、「4週8閉所」の実現に取り組むとともに、優良な施工品質と安全の確保を図る。
- ・担い手となる人材の育成や技術の継承に加え、業務の合理化・効率化を着実に進めるため、効果的な研修・講習を計画的に実施する。

2. 分離発注の一層の浸透を目指そう

- ・電気設備工事における品質とコストとの関係が透明かつ明確で、顧客に対し満足度の高いサービスを提供することが可能な分離発注の浸透に向けた提案力の強化を進める。

3. 新時代に対応した新たなビジネスモデルを構築しよう

- ・カーボンニュートラルに向けた戦略的対応やDXの推進による生産性向上など業界を取り巻く環境変化の中で、時代に呼応した新たなビジネスモデルの可能性を検討する。

4. 様々な事業リスクへの確に対応しよう

- ・事業環境の変化により今後起こりうる様々なリスクに対し、その回避を目指すとともに、リスクが顕在化した時の影響をより小さくするための情報収集や意見交換に積極的に取り組む。

以上

一般社団法人 北海道電業協会 役員

令和7年5月27日現在

*太字は新任・昇任役員

役職名	氏名	会社名	備考
会長	藪下 裕己	(株) 北海電工	
副会長	萩本 哲夫	三共電気工業(株)	総務・広報各委員会担当
〃	伏木 淳樹	北電力設備工事(株)	経営・厚生各委員会担当
〃	小林 直樹	日本電設工業(株)	技術安全委員会担当
専務理事	鎌田 拓也	(一社) 北海道電業協会	
理事	稲津 亘	北盛電設(株)	総務委員会 委員長
〃	土田 徳造	(株) ドウデン	経営委員会 委員長
〃	木村 賢史	北海道タツヲ電気(株)	広報委員会 委員長
〃	松尾 浩博	(株) 関電工	技術安全委員会 委員長
〃	嶋津 博徳	島津電設(株)	厚生委員会 委員長
〃	猪股 浩卓	末廣屋電機(株)	経営委員会 副委員長
〃	梅木 卓昭	(株) きんでん	技術安全委員会 副委員長
〃	佐藤 友昭	(株) 北弘電社	経営委員会 副委員長
〃	末田 晴久	東光電気工事(株)	総務委員会 副委員長
〃	鈴木 暁彦	拓北電業(株)	総務委員会 副委員長
〃	土岐田 昇市	橋本電気工事(株)	総務委員会 副委員長
監事	新妻 繁薫	釧根電業協会	
〃	成瀬 卓也	協信電気工業(株)	
〃	松永 卓也	浅海電気(株)	
〃	伊東 新一	税理士法人松永会計札幌事務所	

(敬称略)

一般社団法人 日本電設工業協会北海道支部 役員

令和7年5月27日現在

*太字は新任役員

役職名	氏名	会社名	本部役員等
支部長	藪下 裕己	(株) 北海電工	(常任理事)
副支部長	萩本 哲夫	三共電気工業(株)	(理事)
〃	伏木 淳樹	北電力設備工事(株)	(〃)
常議員	稲津 亘	北盛電設(株)	(諮問委員)
〃	猪股 浩卓	末廣屋電機(株)	(諮問委員)
〃	梅木 卓昭	(株) きんでん	(諮問委員)
〃	木村 賢史	北海道タツヲ電気(株)	(諮問委員)
〃	小林 直樹	日本電設工業(株)	(諮問委員)
〃	佐藤 友昭	(株) 北弘電社	(諮問委員)
〃	嶋津 博徳	島津電設(株)	(諮問委員)
〃	末田 晴久	東光電気工事(株)	(〃)
〃	鈴木 暁彦	拓北電業(株)	(〃)
〃	土田 徳造	(株) ドウデン	(〃)
〃	土岐田 昇市	橋本電気工事(株)	(諮問委員)
〃	成瀬 卓也	協信電気工業(株)	(諮問委員)
〃	松尾 浩博	(株) 関電工	(〃)
〃	松永 卓也	浅海電気(株)	
監事	成瀬 卓也	協信電気工業(株)	(常議員から再掲)
〃	松永 卓也	浅海電気(株)	(常議員から再掲)
〃	伊東 新一	税理士法人松永会計札幌事務所	

(敬称略)

就任ご挨拶



(株)関電工 理事
北海道支店長

松尾 浩

春惜しむ候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、4月1日付で前北海道支店長 国井雅和の後任として就任しました 松尾 浩でございます。

平素は、当協会ならびに会員の皆様にご大変お世話になり、心より厚く御礼申し上げます。経験不足ではございますが、皆様のご指導・ご鞭撻をいただきながら、当協会および業界の発展に微力ながら邁進努力して参る所存でありますので、前任者同様何卒よろしくお願いいたします。

弊社は、1944年9月1日に関東電気工事株式会社として設立し、1984年9月1日から「株式会社関電工」と社名を変更しております。創立以来

“お客様及び地域社会との共存を目指すことが当社存立の意義である”という考えに基づき、社是である「人間第一」を実践しながら幅広く事業を展開しております。

北海道支店の事業体制としましては、1970年に札幌支社としてスタートし現在に至るまで55年間、千歳営業所、道東営業所、道南営業所、道北営業所と拠点を配置し、北海道発展の一助となるべく事業活動を行っております。

北海道の事業環境におきましては、大規模半導体工場建設や札幌市街地再開発プロジェクト、DX・GX関連プロジェクトが進められており、益々盛況ではありますが、昨年より適用開始となっております時間外上限規制への対応や、働き方・休み方改革の推進などの課題もございます。そのような課題解決に向け全力で取り組んでいく所存でございます。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご繁栄を祈念し、新任のご挨拶とさせていただきます。



(株)きんでん 執行役員
北海道支社長

梅木 卓

新緑の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

私はこの度、前支社長の佐藤 友昭の後任として3月16日付で北海道支社長に就任いたしました 梅木 卓でございます。

平素は当協会ならびに会員各位の皆様にご大変お世話になり、心より厚くお礼申し上げます。微力ではありますが、当協会ならびに業界のために最善を尽くす所存でありますので前任者同様宜しくお願い申し上げます。

当社は、戦時中の昭和19（1944）年に全国9地区に配電会社専属の電気工事業者を設立した際、近畿圏の6社が合併して発足。皆様のお陰により

昨年創業80周年を迎えることができました。

北海道におきましては昭和41（1966）年に札幌営業所、昭和45（1970）年に北海道支社を設置し、現在は苫小牧、函館、帯広、旭川に営業所を構えています。

現在の電気工事業界は、大型再開発や半導体工場など一定の需要はあるものの、先の見えない資材費高騰や業界への入職者減少などの問題も多く、お客様の期待に対し十分に答えられない状況にあると感じています。

私は北海道出身であり当社に入社以来この地で勤務して参りました。今後とも地域密着の精神を大事に、会員の皆様と共に諸課題を克服しながら北海道の発展に貢献して参りたいと存じますので引き続き御指導のほど、宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、北海道電業協会の益々の発展と、今日会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ新任の挨拶とさせていただきます。



(株)北弘電社
代表取締役社長

佐藤 友昭

向夏の候、本協会ならびに会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度本年4月1日に高橋 龍夫の後任として代表取締役社長に就任いたしました佐藤 友昭でございます。

私は2015年7月より、きんでん北海道支社長として協会に携わり、当協会では大変お世話になっておりました。今回、北弘電社は4月1日付けにて、きんでんグループの一員となり、地域密着をさらに進め、引き続き協会の発展に貢献できるよう、精一杯取り組んで参りますので宜しく願いいたします。

弊社は1951年に設立され、電気設備工事の施工

を通じて地域社会への貢献を果たすべく、北海道を中心に「社会インフラ」「産業インフラ」「快適な事務・生活空間」を構築するための活動を続けており、屋内配線工事事業、電力関連工事事業、産業設備機器の仕入れ・販売などを主な事業として事業活動を展開しています。

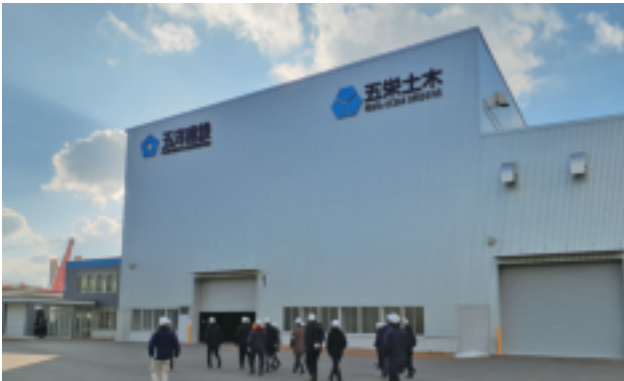
北海道内では、再開発をはじめとする旺盛な建築工事需要、再生可能エネルギープロジェクトの活性化など、明るい情報もありますが一方、人手不足や高齢化、長時間労働、資材価格の高騰など様々な課題もあります。社会環境が変化する中、「人と信頼を大切にし、技術と品質に誇りを持ち、社会のインフラを通して、人々を支える」当社の基本理念に基づき、微力ではありますが、地域の発展に少しでも寄与できればと思っておりますので、併せてご指導のほど、宜しく願い申し上げます。

最後となりますが、北海道電業協会の益々のご発展と会員会社皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げます。新任のご挨拶とさせていただきます。



令和6年度 電気設備施設見学会

～五洋建設室蘭製作所～



令和7年1月15日(水)、当協会と(一社)電気設備学会北海道支部との共催により電気設備施設見学会を開催しました。

この見学会は、会員企業の技術向上と最新設備の見聞を深めるため例年開催しています。今回の見学施設は、室蘭市崎守にある「五洋建設室蘭製作所」。2022年10月にカーボンニュートラルの先進工場として旧工場より新工場へと建設されました。会員企業など参加者16名は、机上説明を受けたのち、塗装工場や水素発電関連設備などを見学しました。

■新工場『室蘭製作所』とは

新工場では、従来の橋梁などに加えて、洋上風力発電関連部材向け架台などの仮設鋼構造物製作に対応するため、延床面積を約9,600㎡とし、工場設備も最新鋭の工作機械や大小多様なクレーンが導入されています。

また、洋上風力建設関連以外でも、調査ボーリング用の張り出し架台や橋梁などの鋼構造物の製作も行われています。



工場に隣接して全天候型の塗装工場を設置。製品ブラスト*も対応でき、作業環境にも配慮されています。*製品の表面形状を変化させる物理的加工法

■新工場の特徴『再エネ100%工場』

新工場の工場、事務所の動力・空調・電灯の電力全てが再生可能エネルギーで賄われています。

工場棟の屋根には、出力670KWの太陽光パネル2,197枚が設置され、発電された直流電力を変換効率97.1%のパワーコンディショナーで交流電力に変換されています。

また、太陽光発電の余剰電力を活用し、水電解装置によりグリーン水素を製造。水素吸蔵合金に貯蔵されています。加えて、副生水素も購入し、出力30KWの燃料電池による水素発電も導入されています。

事務所の省エネルギー化については、建物外壁の高断熱化、高効率空調とセンサー制御や採光フィルムとセンサー制御により、省エネ率65%、創エネ率360%を実現。ZEB*認証を取得しています。*ネット・ゼロ・エネルギー・ビルの略称



塗装工場



水素発電関連設備（水素棟）

「働き方改革」推進に向けた申し入れ活動

本年4月1日より「働き方改革」推進のための労働基準法改正により、時間外労働の罰則付き上限規制が建設業にも適用されることになりました。電設協北海道支部および北海道電業協会の三役は、主な建設関連団体等に対し、昨年に引き続き「働き方改革」推進の申し入れ活動を行いました。

冒頭、藪下会長より「働き方改革関連法」の遵守に向けた「適正な工期の確保および工程の順守」「長時間労働の是正」「対等な契約関係の構築」について申し入れ、意見交換を行いました。

土日一斉閉所や適正な工期確保を申し入れる！

(一社)北海道建設業協会

- 日 時 令和7年1月16日(木) 14:00～15:20
- 場 所 先方共用会議室
- 出席者 藪下会長、萩本・伏木副会長、
稲津総務委員長、鎌田専務

○ 先方発言

- ・土木分野ではほぼ4週8休が実施出来ているが、建築分野はなかなか難しい状況である。
- ・民間は年度末の作業集中が顕著であり、官庁工事も補助金等で発注がずれ込み、年度末に工事が集中する。年度跨ぎの柔軟な工期設定をお願いしているが思うようにいかない。
- ・地方自治体には、工期見直しに向けた設計変更などの指導をお願いしている。民間に対しても理解度をあげるべく要請を続けている。
- ・労働時間について、会員企業の80数%はクリア出来そうだが、残り建築部門を抱えている会社では、年度末に向け不安な状況である。



(一社)北海道設備設計事務所協会

- 日 時 令和7年1月17日(金) 10:00～10:30
- 場 所 先方会議室
- 出席者 藪下会長、萩本・伏木・国井副会長、
鎌田専務

○ 先方発言

- ・当業界も人手がなく、翌年度工事の当年度末

までの設計完了が難しくなっている。

- ・学校のエアコン工事は、土日作業がメインであり、現場では4週8休は、ほぼ無理というのが実態である。最近は急ぎで発生した業務を受けてくれる業者がなく、苦慮している。

(一社)北海道建築士事務所協会

- 日 時 令和7年1月17日(金) 11:00～11:30
- 場 所 先方会議室
- 出席者 藪下会長、萩本・伏木・国井副会長、
鎌田専務

○ 先方発言

- ・国や北海道の工事は、ある程度余裕を持った工期設定がされているようだが、地方自治体や民間は厳しい状況である。
- ・地方自治体では、工期延長に係る我々管理側のコストは対応してもらえない状況である。
- ・人手不足は深刻さをます。設計業界としてPR不足だったと反省している。今後は業界の魅力向上とPRを推進していきたい。

(一社)日本建設業連合会北海道支部

- 日 時 令和7年1月27日(月) 16:00～16:30
- 場 所 (株)大林組札幌支店応接室
- 出席者 藪下会長、萩本・伏木副会長、
鎌田専務

○ 先方発言

- ・官庁・民間を問わず見積り提出段階では、4週8閉所を大前提とし交渉している。
- ・設備工事業界では、工期終盤に仕事が集まるものと認識しているが、今回の申し入れについては、事務局を通じて会員会社へ周知を進める。

令和6年度 技術講習会

～電気設備の自主検査と現場試験のポイント～



令和7年1月31日(金)北海道電気会館において技術講習会を開催しました。今年度のテーマは「電気設備の自主検査と現場試験のポイント」。道内各地の会員から21名が受講しました。

開催にあたり主催者を代表して、当協会の小林技術安全副委員長は「本日の講習会では、施工プロセスにおける各種検査について学んでいただきます。電気設備の工事施工者として、



小林 副委員長

検査の目的・方法・検査結果の判定など、限られた時間で内容も多岐にわたるが、今後の実務に役立てていただけるよう、ご清聴をお願いします。この講習を通じて皆さまの工事施工に関わる更なるスキルアップとご活躍を期待します」と呼びかけました。




川口 講師

講師には、(一社)日本電設工業協会より(株)北海電工の川口博氏が派遣されました。最初にテキストの構成について、第1編では、工事受注から竣工引渡しまでの、各工程の節目で行われる受入検査、中間検査、工場検査、竣工検査などの自主検査について、ISO 9000シリーズを踏まえて記述、第2編では、完成検査における点検・試験・測定の内容、各種測定

器の上手な使い方や現場試験の実際について、電気主任技術者の立場から記述されていると説明しました。

講義は、自主検査として、受入検査、工程内検査、工場立会検査について、最終検査として、書類検査、現場検査、連動、総合検査について、また、測定・試験として、測定のテクニックや現場試験の実際などについて、日本電設工業協会発行のテキストとパワーポイントの資料を活用し、4時間にわたり丁寧な解説がありました。

受講者アンケートでは「新しい知識を得ることが出来た」「自社でやっている内容と最新の仕様を照合出来る良い機会だった」「知識や作業手順の確認と更新が出来た」などの意見が寄せられました。



【使用テキスト】

発行所
一般社団法人
日本電設工業協会

発売元
オーム社

令和6年度 電設業関連4団体懇談会



令和7年2月13日(木)ニューオータニイン札幌において、当協会と北海道電気資材卸業協同組合、(一社)日本配電制御システム工業会北海道支部、電気資材メーカー(東芝ライテック(株)北海道支店、三菱電機住環境システムズ(株)北海道支店)の4団体による懇談会を開催し、藪下会長他5名が出席しました。

冒頭、当協会の藪下 裕己会長は諸情勢に触れた後に「北海道内は、今後も旺盛な建設需要が見込まれるが、超高齢化や少子化社会が進展し、当業界においても技術者、技能者不足、若年者の担い手不足の課題に直面しており、今後の施工力確保が懸念される。当業界は電気設備等を建設し維持、管理することで社会に貢献していく役割を担っている。この先も安心、快適に利便性の高い社会生活や経済活動を持続的に進めるため、経年劣化が著しい、社会インフラを守るために働くことの重要性を発信していく。こうした役割を着実に果たしていけるよう、電設資材関係の団体や企業の皆さまと連携をさらに深め、協会活動に取り

組んでいく。本日は情報共有や忌憚のない意見交換をさせていただきたい」と協力を求めました。

続いて北海道電気資材卸業協同組合の三神 司理事長、日本配電制御システム工業会の石田 俊平支部長より、現況や景況感をはじめ、物流や配送料の高騰、資材パーツの値上げ、先行きの見通しや今後の課題などについて、報告を兼ね挨拶がありました。

懇談会では、東芝ライテック(株)北海道支店の布野 翔大所長、三菱電機住環境システムズ(株)北海道支店の山本 吉照営業部長より、2027年の蛍光灯製造廃止、教育施設の猛暑対策、いわゆるエアコン問題や人手不足による出荷、配送の遅延など物流の現状について、それぞれの立場から情報提供がありました。



左から 萩本・伏木 両副会長、土田 経営委員長

また、当協会の萩本副会長より、札幌市内学校のエアコン工事や蛍光灯のLED化の状況、人材確保と育成などについて、発言がありました。その後の懇親会では、各業界の現状や今後の動向などについて意見が交わされました。



三神 理事長



石田 支部長



藪下 会長

令和6年度 経営者懇談会・セミナー



令和7年3月27日(木)札幌グランドホテルにおいて、令和6年度経営者懇談会を開催、会員代表者など44名が参加しました。

この懇談会は、協会活動のさらなる活性化を目指し、電気設備工事業を取り巻く諸課題や、協会の事業活動に関して意見や提言をいただくとともに会員相互の情報交換や親睦・交流の場として開催しています。



藪下
会長

はじめに藪下 裕己会長より「従来から『労働環境・処遇の改善』や『働き方改革』に取り組んできたが、時間外労働の上限規制が適用され、一層着実な対応が求められている。また、ウクライナや中東情勢等の政情不安や円安の継続を要因とした建設資機材の価格高騰など、現在の工事受注への影響に加え、今後の見通しについても予断を許さない不透明な状況となっている。このような状況下ではあるが、本懇談会では忌憚のない意見を通して会員の皆さまとともに、今後の事業活動について相互に考える場にしたいと考えている。よろしくお願ひしたい」と挨拶がありました。

その後、事務局から電設協「令和6年度 会員大会」や5月に開催を予定している「定時総会」の上程議案などの報告に続いて、各地区協会より地域の景況感や受注状況と課題などについての近況報告を受け、意見交換が行われました。

経営者セミナー

懇談会に続いて、同会場にて経営者セミナーを開催。会員代表者など55名が参加しました。

藪下会長は「セミナーは、その時々タイムリーな話題や経営基盤の強化につながるようなテーマを選定し、皆さまの企業活動の一助になればとの思いで開催している。有意義なセミナーとなることを祈念している」と呼びかけました。



菅井
貴子
さん

今年度は気象予報士の菅井 貴子さんにお越しいただき「天候が環境や産業に及ぼす影響について」をテーマにご講演いただきました。異常気象など、平年から大きくかけ離れた天候が及ぼす社会的に大きな影響について、参加者は熱心に耳を傾けていました。

令和7年度 技術・安全衛生基礎教育講習会



令和7年4月8日(火)～11日(金)の4日間、北海道電気会館6階大ホールにおいて、新入社員、新入社員を対象とした、令和7年度技術・安全衛生基礎教育講習会を開催しました。

この講習会は、将来を担う新人や入社数年の若手社員の人材育成を目的に、平成4年度から例年開催しています。講習会資料には、(一社)日本電設工業協会が編さんした新人教育用などのテキストが用いられ、14社から34名が受講しました。

冒頭、開講挨拶で小林 直樹技術安全副委員長は「この講習会は、電気工事会社に入社した新入社員を対象に、電気設備工事に従事するために必要な基本的内容ばかりである。初めて聞く言葉や名称も多く、集中力が途切れる時間もあると思うが、4日間各カリキュラムをしっかりと聴講し、将来に向けて第一歩を踏み出すきっかけとしていただきたい」と呼びかけました。



小林 副委員長

講習会の講師は、会員企業のベテラン技術者が務め、電気設備の概要や受変電、発電、電気貯蔵、再生可能エネルギーを利用した電源システムや設計・積算の基本、電気工事の施工など、技術と安全衛生に関する知識を教授。受講生は経験豊富な講師陣の講義に真剣に耳を傾け、新人技術者の基本的な知識や業務また、安全衛生管理の必要

性、重要性などを学び、最終日には修了証が手渡されました。

【講習項目と講師紹介】

主な講習項目	講	師
電気設備概論	東光電気工事(株) 内線第一課長 佐々木 勇 氏	
受変電設備 材料と工具 発電設備等	(株)北海電工 電設工事部マネージャー 川口 博 氏	
電気と安全、 労働災害防止	(株)北海電工 安全品質部 半崎 郁哉 氏	
設計と積算 照明設備	(株)きんでん 工事部技術課長 村上 雅春 氏	
監視制御設備 情報通信設備	(株)北弘電社 安全技術部長 太田 展浩 氏	
配線工事の基本 幹線設備等	拓北電業(株) 専務取締役 宮森 慎一 氏	
防災設備 雷保護システム等	協信電気工業(株) 常務取締役 小川 恒明 氏	



技術講習会開催する！



苫小牧電業協会

苫小牧電業協会は、令和7年2月14日(金)苫小牧市文化交流センター「アイビー・プラザ」において、技術講習会を開催しました。講習会には、会員企業7社から18名の技術者が参加。電気設備技術者のための現場管理業務のポイントを学びました。

開催にあたり中村 衛会長は「本日は知識、経験豊富な講師に来ていただいた。仕事は知識も大



テーマ：『現場管理業務のポイント』

切であるが、失敗しながら覚える。経験が一番大事である。本日は限られた時間ではあるが、普段から疑問に思っていることや悩んでいることなど、質疑も通じてしっかりと学んで欲しい」と呼びかけました。

講師には、(一社)日本電設工業協会より、(株)北海電工の川口 博氏が派遣され、テキストには、同会発行の電気設備技術者のための「現場管理技術」～現場代理人～を使用。パワーポイントも併用し、4時間にわたり丁寧な講義がありました。



中村 会長



川口 講師

釧根電業協会

釧根電業協会は、令和7年4月22日(火)コーチャンフォー釧路文化ホールにおいて、技術講習会を開催しました。講習会には、会員企業24社から65名の技術者が参加。工事会社が、施工品質を確保、確認する手段として実施する、検査・測定・試験方法について学びました。

開催にあたり新妻 緊市会長は「本日の講習会は基本的な事項になるが、ベテランは知識を再確認する場、若手は基礎知識を学ぶ場としていただ



テーマ：『自主検査と現場試験のポイント』

きたい。本日の講習会で学んだことを職場へ持ち帰り、今後の施工管理に役立てていただきたい。また、講習会は今後も継続して開催していく。積極的な参加をお願いしたい」と挨拶がありました。講師には、(一社)日本電設工業協会より(株)北海電工の川口 博氏が派遣され「電気設備工事の自主検査と現場試験のポイント」をテーマに講義が行われました。最後に「このテキストは現場の色々な場面で参考となる。有効に活用して欲しい」と呼びかけました。



新妻 会長



川口 講師



自然と再エネが拓く 持続可能な未来都市 ～石狩市～

石狩市長 加藤 龍 幸



■ まちの紹介

北海道の母なる川「石狩川」の河口に位置する石狩市は、平成17年10月1日、地理的、歴史的にも深く長い結びつきがある厚田村、浜益村と合併し「新たな石狩市」としての歩みを始めました。合併20周年を迎える本市は、日本海に面しており、美しい海岸線とともに、四季折々の風景が楽しめ、海の恵みを受けた新鮮な魚介類や、自然環境を活かした農産物が特産品として知られています。

また、江戸時代後期からサケの歴史と文化を有する「本町地区」は石狩発祥の地であり、石狩浜（あそびーち石狩）での夏の海水浴や、秋の石狩さけまつりでは、道内各地から多くの観光客で賑わい、冬には、日本海の荒波と石狩灯台一带に広がる雪景色とのコントラストを体感できる、魅力的な観光スポットです。

本市はこのような「豊かな自然」に育まれたまちの顔と、札幌圏に位置する国際貿易港「石狩湾新港」を核とする総面積3,000haを擁する工業流通団地「石狩湾新港地域」があります。同地域は物流

拠点としての役割のほか、近年は、風力やバイオマス、太陽光による発電など、再生可能エネルギーの供給拠点として注目を集めています。石狩湾新港の港湾区域内では、2024年1月から国内最大規模の洋上風力発電が商業運転を開始しました。

また、市では、再生可能エネルギーの「地産地活」をコンセプトに、地域でつくられた再生可能エネルギーを地域で活用するため、同地域内にREゾーン（Renewable Energy Zone）を設け、再生可能エネルギー100%の運用を目指すデータセンター等の誘致も進めています。

石狩市は、これまで先人が築き上げてきた歴史や文化を後世に伝えていくとともに、新たな産業と様々な地域資源を活用した魅力あるまちづくりを推進し、地域価値の創造に挑戦していきます。



■ まちの概要（令和7年2月末現在）

- ・面積：721.86㎡
- ・人口：57,028人
- ・世帯数：28,663世帯
- ・石狩の花：ハマナス
- ・石狩の木：カシワ
- ・石狩の鳥：カモメ

■ はまなすの丘公園

日本海と石狩川の交わりに形成された砂嘴に広がる約46haの公園には、ハマナスなどの海浜植物を含む約180種類の植物が自生しています。

公園の入口には、1892年の開設から100年以上の歴史を持ち、現存する道内最古の灯台である「石狩灯台」が建っており、今も石狩湾を航行する船の安全を守っています。



■ 道の駅 石狩「あいろーど厚田」

国道231号線、通称オロロンライン沿いに建つ道内でも珍しい3階建ての道の駅です。当駅には売店や飲食店はもちろんですが、まちの歴史や文化を伝えるための資料室や雄大な日本海や厚田の街並みを展望できる屋外デッキなど、地域資源を複合的に活用できる設備を設けております。

また、売店では石狩市の特産品のほか友好都市である石川県輪島市、沖縄県恩納村の特産品を購入することもでき、飲食テナントでは石狩市産の食材を使った様々なテイクアウトグルメを楽しむことができます。



■ 石狩三大秋祭り

石狩市はサケ漁で活気を呈してきたまちであり、旧石狩市域、厚田区、浜益区それぞれでサケに関連するまつりが開催されています。そして今年には石狩さけまつりが60回目、厚田ふるさとあきあじ祭りが50回目、浜益ふるさと祭りが40回目の節目を迎える年となります。

まつりは賑わいを創出するために始まったものですが、今では年に一度、みんなでサケを供養し、次の豊漁を祈願するという、大切な行事となっています。



■ 石狩鍋

北海道を代表する郷土料理「石狩鍋」は、その名の通り、サケで有名な石狩市から生まれた漁師料理とされています。

石狩市では、江戸時代からサケ漁が盛んに行われており、大漁を祝う際、漁師たちは穫れたてのサケのぶつ切りや、あらをそのまま味噌汁が入った鍋に入れ、ご褒美として食べていたといわれています。石狩鍋発祥の店「割烹 金大亭」では、調理法や味わいを代々引継ぎ、その味を守っています。



■ 石狩市ホームページ

- ・ <https://www.city.ishikari.hokkaido.jp/>





未来へ続く 笑顔あふれるまち 美深 ～美深町～

美深町長 草野孝治



■ まちの概要

北海道の北部、稚内市と旭川市のほぼ中間に位置する美深町は、北海道第二の大河『天塩川』と道北の交通の要所である国道40号が町の中央を南北に縦貫しています。

町の約8割が森林で、東部には函岳を主峰とする北見山地、西部には天塩山地が連なっています。豊かな自然に囲まれたこの地域では、冬の最低気温がマイナス30℃を超え、夏の暑さは30℃を超える大きな寒暖差があるため、特産品のカボチャやジャガイモといった農産物は味が濃く、自慢の逸品です。

■ 古代魚『チョウザメ』を養殖

カントリーサインにチョウザメが描かれていることから、『チョウザメの町』としてご存知の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

美深町とチョウザメとの関わりは、昭和58年に「びふかアイランド」の三日月湖に寒地研究用のチョウザメを放流したことに始まります。平成の終わりごろまでは、観光用に飼育してきましたが、平成25年に廃校のプールを活用して、チョウザメの飼育と加工施設を建設。平成29年には更に

多くのチョウザメを飼育するため飼育研究施設を建設し、本格的な事業化を目指してチョウザメの養殖をスタートさせました。



町の山間部を流れる仁宇布川からの放流水を活用した飼育は紆余曲折の連続ですが、飼育にあたる職員たちの努力や、北海道大学、ソフトバンク(株)といった関係機関のご協力により、キャビアの瓶詰めやチョウザメの魚肉を安定的に販売できるまでに成長しました。

チョウザメの魚肉は、古代中国では皇帝に献上されたというほど栄養価の高い白身の魚で、美深町産のチョウザメは町内



のびふか温泉や飲食店で召し上がることができます。

また「美深キャビア」は緑がかった濃い灰色が特徴的で、塩分控めでコクを味わえます。道の駅などでお求めいただけるほか、ふるさと納税の返礼品をご用意しています。時間をかけて育まれた逸品をぜひご賞味ください。

■ オススメのスポット

◎ びふかアイランド

～温泉、キャンプ、遊びを満喫！～

中心地から北へ約8kmの地点に、びふか温泉、道の駅、オートキャンプ場、コテージ、大きな水槽で泳ぐチョウザメを見学できる「チョウザメ館」といった施設が一体となったレジャースポット「びふかアイランド」が広がり、自然のなかで体を動かしたり、ゆったりくつろぐことができます。イチオシは道の駅の北あかりコロッケ。ほっくりしたジャガイモとサクサクの衣の相性が抜群です。



オートキャンプ場



チョウザメ水槽



北あかりコロッケ

◎ トロッコ王国美深

町の中心部から道道49号を車で走ること約20kmの地点に位置する仁宇布地区に、毎年来場者が1万人を超える人気観光スポット「トロッコ王国美深」があります。

昭和60年に廃線となった旧国鉄美幸線のレールを走行するトロッコは、自動車運転免許がある方

なら誰でも運転でき、木々のトンネルや鉄橋の上を風を切って駆け抜ける「走る森林浴」は爽快感が楽しめます。



◎ 日本最北！レンガ造りのブルワリー

BSB（美深白樺ブルワリー）は、かつて倉庫として使われたレンガ造りの建物を改修して建設され、仁宇布地区で採取した白樺樹液を副原料にクラフトビールを醸造しています。

醸造所に併設するレストランでは、個性豊かな銘柄のクラフトビールを味わいながら、職人が真剣な眼差しで醸造する様子を間近で見学できます。晴れて心地の良い日は屋外で風を感じ、冬は薪ストーブの香りをスパイスにクラフトビールを楽しめます。

◎ 天塩川を楽しむ

松浦武四郎が内陸調査の途上で「北海道」と命名したとされる最北の大河「天塩川」。

町の中央を北へ向かって貫流し、流域一帯に広がる原生林はオジロワシに出会えることもしばしば。大自然の中でカヌー下りを楽しむことができます。



カヌー（ダウン・ザ・テッシ-オ-ペツ）大会

■ 美深町ホームページ

<http://www.town.bifuka.hokkaido.jp/>



★ 地区協会便り

district association news

函館電設業会

会長 平 沼 冠 三

(樺電工業(株) 代表取締役社長)



八幡坂から函館港を望む

■ 電設業会の概要

- ・ 設 立：昭和46年 5 月 1 日
- ・ 会員数：28社
- ・ 管内人口：渡島管内 約36万 5 千人
 桧山管内 約 3 万 1 千人
- ・ 自治体数：渡島管内 11市町
 桧山管内 7 町

■ 電設業会の事業活動

《安全の取り組み》

安全関係は、例年10月から12月において会員が施工している函館市内あるいは近郊の代表的現場を選び役員が中心となって安全パトロールを実施しております。

安全パトロールは、函館電設業会にて作成した安全チェックリストに基づき行うとともに、現場代理人との意見交換も実施し、安全の確保に役立つように支援しております。

また必ずその際には、災害防止協議会などのリーダーとなる建設会社への挨拶も行うようにしています。令和5年12月1日には「北海道函館水産高等学校大規模改造工事」の現場パトロールを行っております。

安全大会は、函館電設業会独自では行っており

ませんが、函館地方電気工事協同組合主催の安全大会へ協賛し参加しております。

これからも安心して安全な職場環境を維持するため、安全確保に向けた取り組みを推進していきます。

《分離発注要請活動》

分離発注要請活動は例年、5月から6月にかけて渡島管内2市9町、桧山管内6町（奥尻町は行けない歳の方が多い）に対して、会長と副会長の2人ペアにて、2回程度に分けて行っております。

現時点では、全ての市町において原則分離発注になっており、今後も継続していただけるよう、努力をしていきたいと考えております。

その他、特に函館市の場合は、水道局、交通局など各部局から発注されるケースもあるため、必要に応じて要請活動を行っております。訪問先には必ず要請文章、分離発注推進パンフレット、函館電設業会名簿も渡しております。

また、事業案内や名簿によって、北海道電業協会や函館電設業会会員のPRを兼ね、官公庁や独立行政法人、一般団体へも要請活動を行っております。

《発注者との意見交換会》

役員の一部と函館開発建設部に実績のある会員およびこれから参加を検討している会員を中心としたメンバーにて、函館開発建設部との意見交換会を行っております。

この意見交換会は、平成26年度からスタートしていますが、受注者、発注者双方の意見交換と認識や情報を共有する貴重な機会となっています。

また、積算上の機器に関する間接費など、実りある内容にするため、双方の考え方や捉え方の違いを解消出来るような議題の設定に努めています。今年度は、7月の開催を予定しています。

《その他》

電設業会の大きな役目は、情報収集と会員への情報配信であり、今後もスピード感ある配信に努力していきます。

■ 函館「まちあるき」

江戸末期に我が国最初の国際貿易港として開港した函館は、諸外国から文化や風習が伝わり、国内の他の都市とは性質を異にする街並みが形成されて来ました。多くの歴史的建造物が点在し、現在も数多く残っている和洋折衷住宅とともに異国情緒を醸し出しています。

エリアとしては、大きく「西部地区」「駅前地区」「五稜郭地区」「湯川地区」に分けることが出来ますが、その中でも、ドラマや映画の舞台として有名な八幡坂や旧函館区公会堂、カトリック元町教会などが建立されている元町を中心とした「西部地区」はまさしく、函館の魅力が凝縮されています。



旧函館区公会堂

■ 構成会員紹介

かばでんこうぎょうかぶしきかいしゃ
樺電工業株式会社

1951（昭和26）年に会社設立。北海道電力㈱の工事施工会社として、電柱を建て、電線を架ける外線工事を中心に、施設やビル、住宅などの電気の内線工事を手がけてきました。

1955（昭和30）年からは、函館市や北海道の公共工事も施工するようになり、その後は、電気設備工事を中心に、地元函館市および渡島・桧山管内の官公庁、民間の施設工事を施工してきました。

また、情報・通信工事関係では、駒ヶ岳火山噴火観測装置、各河川の情報観測機器、公共下水道監視装置機器の設置工事も施工して来ました。

弊社は、社訓として「親切・丁寧・迅速」を掲げています。お客さまの希望をくみ取り、それを素早く実現出来るよう、常に行動することを目指しています。また、会社をより良い形で継続、繁栄させていくためには、技術の継承は不可欠です。人材確保とともに育成にもより一層、力を注いでいきたいと思っております。

これからも、社訓をモットーに電気設備などを建設し、その維持、管理を通じて、道南地区の社会生活や経済活動の持続的な発展に貢献していきたいと考えております。



社屋全景



昭和30年代の八幡坂の電気工事

◎ ホームページ
<https://kabaden.com/>



函館電設業会

〒041-0821

北海道函館市港町1丁目32番37号 樺電工業株内



一般国道5号倶知安余市道路電気設備設置工事 一般国道5号倶知安余市道路通信設備設置工事

- 工事場所：北海道余市郡余市町ほか
- 工 期：電気設備設置工事：令和5年10月24日～令和7年3月21日
通信設備設置工事：令和5年9月2日～令和7年3月21日
- 工事概要：倶知安余市道路仁木IC～余市IC間における受電設備、道路照明設備の設置、電力ケーブル等の敷設。道路情報表示設備、CCTVカメラ設備、交通量計測設備、交通遮断器、気象観測設備、道路情報システム、移動体通信設備の設置および光ケーブル等の敷設
- 発注者：北海道開発局小樽開発建設部
- 受注者：電気設備設置工事／北電力設備工事(株)、通信設備設置工事／協信電気工業(株)

倶知安余市道路（延長39.1km）は、北海道横断自動車道のうち、ニセコ町から余市町までを結ぶ一般国道の自動車専用道路です。そのうち、仁木IC～余市IC間（延長3.3km）が3月23日に開通し、札幌市、新千歳空港とのネットワーク機能の強化を図り、物流強化、緊急搬送の安定性・迅速性向上が見込まれます。

開通した区間は比較的平坦な部に位置して、橋長430mの登川大橋をはじめ4つの橋ができ、開通により札幌市から仁木町間、新千歳空港から仁木町間ともに4分短縮されます。

後志地域で算出される果実は、道内の産出額の約6割を占め、「佐藤錦」や「紅秀峰」のブランド

力の高いさくらんぼなど、これらの農産物等の多くは、新千歳空港から道外へ出荷されています。

当該区間と並行する国道5号には、信号交差点が多数存在する市街地や急カーブなど線形不良区間があり、輸送時の速達性や安定性の低下が課題となっていて、今回の整備により市街地や線形不良区間を回避する輸送ルートが確保され、農産品などの流通利便性向上が期待されます。後志地域は世界に注目されるニセコ観光圏を中心に外国人宿泊客数が増加し、リゾート開発が進められています。

新千歳空港や札幌市から後志地域の観光地へのアクセス性を向上させ、観光振興による地域活性

化を支援します。また、後志・胆振地域は約30年周期で噴火を繰り返す有珠山、樽前山があり、災害発生時の代替路となる国道5号は、国際海上コンテナが通行できない、狭小のトンネルがあるため災害時の道路機能の確保に課題があります。北海道横断自動車道の整備により、国際海上コンテナ輸送を含む物流を支え、緊急時における迅速な救援および避難活動に寄与します。



○ 電気設備工事：北電力設備工事(株)
 ・現場代理人 中島 諭さん(左)
 ・監理技術者 亀田 禄秀さん(右)

電気設備設置工事は、余市ICから仁木IC間の幹線電力ケーブルを各種敷設し、延長は約7.3kmにもおよびました。受変電設備では、自立型の分電盤を3面設置。引込設備において、10mのコンクリート柱を3本建柱し、引込開閉器盤を3面設置しました。

照明設備はLED道路照明灯具を鋼管柱（溶融亜鉛メッキ）12mポールに6台、10mポールに16台設置。視線誘導設備では、分合流部に設置されるLED式のブリンカーライトを2基設置しました。

通信設備設置工事は、約4.8kmの光ケーブル（SM-4C）を敷設しました。道路防災表示設備では、表示板（HLM7）4面、（NLM7）5面を鋼管柱に設置。CCTV設備はカメラを2台、13mのコンクリート柱に設置。気象観測設備において、風向風速計、雨量計、温度計、レーザー式積雪深計を12mコンクリート柱に設置。気象総合盤1面は、仁木除雪ステーション電気室へ設置しました。

道路防災設備では、交通量計測装置を12mコンクリート柱へ設置。交通遮断器、スピーカーサイレン付き回転灯を余市ICと仁木ICにそれぞれ設置しました。道路情報システムでは、50インチ大型ディスプレイ、HDD装置、遠方監視制御装置

親局を小樽道路事務所へ設置し、遠方監視制御装置簡易子局を仁木除雪ステーションのほか3か所に設置しました。移動体通信設備は、超短波無線電話装置、八木5素子空中線等を稲穂嶺無線中継所へ設置し、小樽道路事務所にVHF遠方監視制御機を設置しました。



○ 通信設備工事：協信電気工業(株)
 ・現場代理人 奈良坂 進也さん(右)
 ・主任技術者 町谷 暢繁さん(左)

今回伺った2月末は、両工事とも現場作業は完了し、検査に向けて準備中でした。外での工事ということで、非常に天候に左右され、作業が中止になったことや、夏場は熱中症に注意しながら作業にあたったとのことでした。情報盤の試験調整については、開発局経由でネクスコとの連携が必要で、日程調整のご苦労や、土木工事をはじめとする各種複数業者との調整にも苦労しましたが、定例会議以外でも非常に良好なコミュニケーションだったとのことでした。

3月23日11時に仁木町民センターにおいて記念開通式が開催され、安全・安心で信頼性、利便性の高い交通ネットワークが地域の活性化につながるよう、地元住民が期待を寄せていました。

最後に、1年半にわたり長期施工期間の竣工間際にもかかわらず、北電力設備工事(株)の中島様、亀田様、協信電気工業(株)の奈良坂様、町谷様には、今回の取材にご協力いただき、大変感謝し、お礼申し上げます。



取材：広報委員 松岡孝夫、三好充博

～シリーズ～ 「私のいちおし」

拓北電業株式会社

代表取締役社長 鈴木 暁彦

今回は私のお勧めしたいお店をご紹介します。炭火烧肉の店「かみふらの」です。

このお店は、私の通っていた高校の後輩がオーナーをしているお店という事もあり、学校の卒業生で構成されている団体の役員会でも、良く利用させて頂いております。



店長 堀さん（右）と一緒に

お店の雰囲気ですが、掘りごたつの席が6席と4席。カウンターが5席と、少人数での利用も出来ますし、人数が多いと貸し切り状態にも出来る様な感じですが、知っている人だけこっそりとおいしいお肉を食べに行く隠れ家的存在のお店。だと思っております。



お勧めメニューですが、色々とおいしいお肉が食べられるのですが、やはり「豚サガリ」だと思います。札幌ではあまり取り扱いが少ない上富良野産の生の豚サガリで、肉の大きさは一つひとつがあまり大きくなくコロコロした感じの大きさなのですが、食べると、とっても柔らかく、噛めば噛むほどジューシーな肉汁があふれてきて、他の肉では味わえない美味しさです。

また、肩ロースや上牛タン、生ソーセージも

とっても個人的に好きでお勧めです。その他には、生ラム、豚ホルモン、せせり、豚タンなど、まだまだ多くのメニューがあり、色々食べて頂きたいです。

お肉の他にもイカ焼きや油揚げ、かきバター、ひら天（かまぼこ）などもあります。もちろん、焼き野菜も食べられますのでバランスよく食べる事が出来ます。

私も結構、いい年齢になってしましまして、アブラの多い肉はあまり食べられなくなってきているのですが、赤身のお肉が中心となっているので安心です。



また、七輪に炭を入れてその熱で焼いて食べるので適度にアブラも落ちてとても良いです。タレは特製の塩だれと焼肉用のたれの2種類がありますが、個人的には塩だれがお気に入りです。お酒も普通のお酒類の他に、美味しい富良野ワインも飲む事が出来ます。

そして最後のシメでは、冷麺をお勧めしたいです。「お肉もたくさん食べて、お腹一杯でもう入らないよ～」という方にはメニューには載っていませんが、ハーフサイズが出来るかどうかお店の人に聞いてみて下さい。きっと、対応してくれると思いますよ。

美味しいお肉と美味しいお酒と共に、気心の知れた仲間と素敵な時間を過ごすことが出来るお店が「かみふらの」です。すすきのへ行った際には、是非ともお立ち寄り下さい。

- ・店 名：炭火烧肉 かみふらの
- ・住 所：札幌市中央区南4条西3丁目
すすきの第3グリーンビルB1F
- ・電 話：050-5456-9620
- ・営 業 日：月・火・水・木・金・土
(定休日は日曜日)
- ・営業時間：午後5時00分～午後11時00分



第2回 歌唱部会を開催



『お酒』と『おしゃべり』と『熱唱』！

今年度第2回目の歌唱部会を、2月28日(金)『ナイトバンク』において12社から19名の参加をいただき開催しました。美味しいお酒を片手に会話も弾み、歌唱部会らしくカラオケも大いに盛り上がりました。

近年若手の参加者も増え、聞いたことのない歌もありますが、私は昭和感を出し、歌い続けたいと思っています。来年度も多くの皆さまにご参加いただき、楽しんでいただけるよう、おしゃべりの場と空間を提供していきたいと考えていますので、どうぞよろしく願いいたします。ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

歌唱部会長 大塚 雅史
部会幹事一同



大塚 部会長 (左)

◆ 令和7年度 歌唱部会活動予定 ◆

- 第1回 令和7年8月開催予定
- 第2回 令和8年2月開催予定



～ 歌唱部会の生い立ち ～

歌唱部会の歴史は古く、昭和61(1986)年4月の厚生委員会にて、部会としての発足が承認されました。同年5月10日には早速、第1回の歌唱部会を開催。初代の部会長は、三共電気工業(株)の大越 寿雄さんが就任されています。

歌唱部会が作られたきっかけは、ある会員さんがカラオケを某ホテルより大量に注文を受けたものの、それがキャンセルとなり処分に困っていたため、協会が1台を買い受け、販売促進のためある企業に展示をしたところ、何台か残っていたカラオケが完売。大変喜んでいただいたとのこと。

その後、展示したカラオケを協会に持ち込み「『カラオケ部会』を作ろう」と話がまとまり、新部会が誕生することとなりました。そして名称も「歌唱部会」と命名することとし、正式に発足しました。

業界だより

会 員 名	異動事項	変更後（新）	変更前（旧）
株式会社 きんでん 北海道支社	会員代表者 (3月16日付け)	執行役員支社長 梅木 卓	執行役員支社長 佐藤 友昭
株式会社 関電工 北海道支店	会員代表者 (4月1日付け)	理事支店長 松尾 浩	理事支店長 国井 雅和
株式会社 北弘電社	会員代表者 (4月1日付け)	代表取締役社長 佐藤 友昭	代表取締役社長 高橋 龍夫
パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 北海道電材営業部	会員代表者 (4月1日付け)	営業部長 中村 浩爾	営業部長 佐藤 健悦
石垣電材株式会社	会員代表者 (4月1日付け)	代表取締役 松葉 克哉	代表取締役 増子 孝行
株式会社 日照電機製作所	会員代表者 (4月1日付け)	代表取締役 桑原 浩一	代表取締役 小林 一郎
三菱電機住環境システムズ 株式会社北海道支社	会員代表者 (4月1日付け)	取締役支社長 野津 邦雄	取締役支社長 福家 好夫
後志電業協会	地区代表者 (4月7日付け)	会長 木村 英司 (株大江電気)	会長 岩城 直人
室蘭電業協会	地区代表者 (4月17日付け)	会長 千葉 昌子 (株耕電設)	会長 徳本 栄一
苫小牧電業協会	地区代表者 (4月18日付け)	会長 大滝 力緒 (株錦戸電気)	会長 中村 衛
東芝ライテック株式会社 北海道営業部	会社名 (4月1日付け)	東芝ライテック(株) 北海道支店	東芝ライテック(株) 北海道営業部



札幌市では、省エネルギーなど気候変動対策の取り組みを積極的に進めております。その一環として「さっぽろエコスタイル」を期間を定めて実施しています。年間を通じて執務環境に応じた室内の温度管理を図るとともに、冷暖房に頼り過ぎない服装での勤務を励行しましょう！

■ 区分【夏期】クールビズ

■ 期間 5月10日～10月10日（5ヶ月間）

■ 温度設定 冷房時の執務室内温度28℃（目安）

■ 内容 業務内容や執務環境に応じて、暑さをしのぎやすい服装を励行する。

理事会・三役会議・委員会報告

理 事 会

◇ 令和7年1月31日(金) 北海道電気会館

【第6回議題】

(協議事項)

1. 令和6年度下期・7年度上期役員会等の行事日程の一部変更について
2. 「任期満了に伴う役員改選」に係る次期定時総会までの対応について
3. 会費等級格付け見直し及び令和7年度の収支予算の策定について
4. 令和6年度経営者懇談会・セミナーの開催案内等について
5. 定時総会議案書における事業報告等の記載構成の見直しについて

(報告事項)

1. 「働き方改革」推進に向けた建設関連団体等との意見交換について
2. 建設業界の働き方改革に関する講習会の開催について
3. 電設協本部文挾会長との意見交換会の開催要請について
4. 令和6年度電気記念日事業実施に伴う後援依頼への対応について
5. 令和6年度「建設産業ふれあい展」について
6. 令和6年度技術講習会の開催について
7. JECA電気設備工事総合補償制度(団体保険)の説明について
8. 電設協北海道支部新規入会について
9. 会員の諸変更について
10. 令和7年2月～3月行事予定について

(その他意見交換)

◇ 令和7年3月18日(火) 北海道電気会館

【第7回議題】

(協議事項)

1. 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
2. 令和7年度スローガン(案)について
3. 令和6年度収支決算見込みについて

4. 次期定時総会(電業協会・電設協)について
5. 令和6年度経営者懇談会・セミナーの運営について

(報告事項)

1. 功績表彰候補者について(令和7年対象者)
2. 会員大会費用に関する本部・支部間の確認結果について
3. 電設業関連4団体懇談会について
4. 会員の諸変更について
5. 令和7年4月～5月行事予定について

(その他意見交換)

- ・北海道防衛局事業説明会(3/14)について

◇ 令和7年4月25日(金) 北海道電気会館

【第1回議題】

(協議事項)

1. 電業協会副会長の退任に伴う後任候補者の選定および職務執行順位について
2. 次期役員改選に係る候補者の選定と役員体制(案)について
3. 電業協会第59回・電設協道支部第69回定時総会について
 - (1)令和6年度事業活動報告について
 - (2)令和6年度収支決算について
 - (3)定時総会の準備状況について
 - (4)定時総会の進行及び運営(案)について
 - (5)合同懇親会の運営(案)について

(報告事項)

1. 定款第21条第5項の規定に基づく職務執行状況の報告について
2. 令和7年度技術・安全衛生基礎教育講習会の開催結果について
3. 会員の諸変更について
4. 令和7年5月～6月行事予定について

(その他意見交換)

三役会議

◇ 令和7年2月13日(木) ニューオータニイン札幌 【第11回議題】

(協議事項)

1. 次期定時総会について
2. 令和6年度電設業関連4団体懇談会の運営について

(報告事項)

1. 各関係団体の通常総会後の意見交換会への出席について
2. 協会臨時職員の交代について
3. 会員の諸変更について
4. 令和7年2月～3月行事予定について

(その他意見交換)

1. 令和7年度北海道防衛局建設工事に関する説明会への対応について
2. 次回三役会議(3/10)の会場について

◇ 令和7年3月10日(月) ニューオータニイン札幌 【第12回議題】

(協議事項)

1. 次期定時総会について
 - (1)役員改選に係る候補者の選定について
 - (2)議事次第(案)について
 - (3)開催案内(案)について
 - (4)令和7年度収支予算(案)について
2. 令和6年度経営者懇談会・セミナーの運営について

(報告事項)

1. 令和7年度功績表彰候補者について
2. 令和7年度北海道防衛局建設工事に関する説明会への対応について
3. 電設協本部・支部事務連絡会議報告について
4. 会員大会費用に関する本部・支部間の確認結果について
5. 会員の諸変更について
6. 令和7年3月～4月行事予定について

(その他意見交換)

◇ 令和7年4月10日(木) 北海道電気会館 【第1回議題】

(協議事項)

1. 電業協会副会長の退任に伴う後任候補者の選定等について
2. 次期役員改選に係る候補者選定と体制(案)について
3. 令和6年度会務・事業の報告について
4. 令和6年度収支決算について
5. 電業協会第59回・電設協道支部第69回定時総会の進行案について
6. 定款第21条第5項の規定に基づく職務執行状況の報告について(下期)

(報告事項)

1. 会員の諸変更について
- #### (その他意見交換)

◇ 令和7年5月14日(水) ニューオータニイン札幌 【第2回議題】

(協議事項)

1. 電業協会第59回・電設協道支部第69回定時総会の進行等について
2. 定時総会及び合同懇親会の運営等について
3. 電設協本部文挾会長との意見交換会の内容について
4. 顧問会の開催について

(報告事項)

1. 令和7年度「札電協親睦ゴルフ大会」の案内への対応について
2. 令和7年度「公共建築の日」及び「公共建築月間」の記念イベントにおける後援について
3. 会員の諸変更について
4. 令和7年5月～6月行事予定について

(その他意見交換)

総務委員会

◇ 令和7年3月11日(火) 北海道電気会館 【第4回議題】

1. 定時総会までの準備スケジュールについて
2. 令和6年度総務委員会事業活動報告(案)について

3. 令和7年度総務委員会事業活動計画（案）について
4. 令和7年度電業協会収支予算（案）について
5. 功績表彰候補者の選考及び推薦について
6. 令和6年度「建設産業ふれあい展」について
7. 電設業関連4団体懇談会について
8. 建設関連団体等への「働き方改革」推進の申入れについて
9. その他意見交換

経営委員会

◇ 令和7年3月19日(水) 北海道電気会館
【第3回議題】

1. 第2回経営委員会以降の事業活動報告
 - (1)本部政策委員会の議事内容
 - (2)北海道の建築工事に係る合同研修会
 - (3)北海道開発局営繕部との意見交換会
 - (4)建設関連団体等への「働き方改革」推進の申入れ活動
 - (5)電設業関連4団体懇談会
2. 分離発注要請活動実施状況について
3. 経営者懇談会・セミナーについて
4. 令和6年度経営委員会事業活動報告（案）について
5. 令和7年度経営委員会事業活動計画（案）について
6. その他意見交換

広報委員会

◇ 令和7年3月19日(水) 北海道電気会館
【第4回議題】

1. ホームページの更新について
2. 令和6年度広報委員会事業活動報告（案）について
3. 令和7年度広報委員会事業活動計画（案）について
4. 地方取材について
5. 次回広報委員会について
6. その他意見交換

◇ 令和7年5月29日(木) 北海道電気会館
【第1回議題】

1. 令和7年度広報委員会体制について
2. 令和7年度広報委員会事業活動計画（案）について
3. 会報「No.206」発行までのスケジュール等について
4. 会報「No.207」編集方針（案）について
5. 地方取材について
6. その他意見交換

技術安全委員会

◇ 令和7年3月13日(木) 北海道電気会館
【第3回議題】

1. 第2回技術安全委員会以降の事業活動報告
2. 令和7年度技術・安全衛生基礎教育講習会の開催概要について
3. 令和6年度技術安全委員会事業活動報告（案）について
4. 令和7年度技術安全委員会事業活動計画（案）について
5. 施工工事現場の紹介について
6. 今後の事業活動について
7. その他意見交換
 - (1)技術講習会の講師について
 - (2)その他

厚生委員会

◇ 令和7年3月28日(金) 北海道電気会館
【第2回議題】

1. 各部会の活動報告について
2. 令和6年度厚生委員会事業活動報告（案）について
3. 令和7年度厚生委員会事業活動計画（案）について
4. 令和7年度厚生委員会事業活動予算（案）について
5. 当面の事業活動について
6. その他意見交換

常設委員会・部会

■ 三 役

役 職	会 長	副会長	副会長	副会長	専務理事
氏 名 (担当委員会)	藪下 裕己 (北海電工)	萩本 哲夫 (総務・広報担当) (三共電気)	伏木 淳 (経営・厚生担当) (北電力設備)	小林 直樹 (技術安全担当) (日本電設)	鎌田 拓也 (電業協会)

■ 常設委員会

委 員 会 名 正 副 委 員 長	委員会所管事業	所 掌 事 項
◎ 総務委員会 (正) 稲津 亘 (北盛電設) (副) 末田 晴久 (東光電気) (副) 鈴木 暁彦 (拓北電業) (副) 土岐田 昇 (橋本電気)	協会運営の基本となる総合的事項及び電業協会における労務に関する事項等を協議し対処する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監督官庁との意見交換会の開催 ・ 経営者懇談会の開催 ・ 地区電業協会との連携 ・ 地方公共団体等との防災協定に関わる対応 ・ 優秀な人材確保と育成に関する諸事業 ・ その他の委員会に属さない事項
◎ 経営委員会 (正) 土田 徳造 (ドウデン) (副) 猪股 浩徳 (末 廣 屋) (副) 今野 正章 (北海電工) (副) 佐藤 友昭 (北弘電社)	電設業の経営力の向上・発展及び分離発注の推進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営関係調査の対応 ・ 公共工事の入札契約制度等の研修会の実施 ・ 経営基盤強化のための適正受注 ・ 分離発注の要請活動 ・ 関連諸団体等との連携協調 ・ 経営に関する教育講習会の実施 ・ その他経営に関する諸問題への対応
◎ 広報委員会 (正) 木村 賢史 (道タツフ) (副) 大塚 雅史 (北盛電設) (副) 松岡 孝夫 (三 新)	会員及び関係各界への広報活動の推進を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会報の編集及び発行等 ・ 会員名簿の更新 ・ その他広報活動
◎ 技術安全委員会 (正) 松尾 浩 (関 電 工) (副) 梅木 卓 (きんでん) (副) 小川 恒明 (協信電気)	電設業の設備・施工技術の向上及び労働災害防止、環境対策を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 官公庁との技術研修会及び意見交換会の開催 ・ 電気設備新技術及び技術力向上のための情報提供、講習会の開催 ・ 技術・安全衛生基礎講習会の開催 ・ 電気設備工事現場見学会の開催 ・ 電気工事関係資格取得への支援 ・ 工事現場の安全パトロールの実施 ・ 労働安全衛生及び環境に関する諸行事への対応 ・ その他技術及び安全に関する諸問題への対応
◎ 厚生委員会 (正) 嶋津 博 (島津電設) (副) 豊 友祐 (北札電設)	会員相互の親睦・意思疎通を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員相互の親睦を図るための諸行事の企画及び実施

組織と役員名簿

令和7年6月

監事	監事	監事
伊東 新一 (松永会計)	成瀬 薫 (協信電気)	松永 卓也 (浅海電気)

下線：昇任および新任役員

委 員			
石田 貴久 (でんこう) <u>吉岡 智巳 (住友電設)</u> 吉田 岳夫 (北海電工)	小林 勇治 (三共電気) <u>堀岡 裕司 (北弘電社)</u>	桜庭 謙次 (北電力設) 水谷 吉男 (道タツヲ)	嶋川 泰規 (丸三大信) 森崎 亨一 (北盛電設)
内川 勝哉 (北弘電社) <u>佐藤 讓 (東光電気)</u>	小村 広樹 (北盛電設) 西山 博章 (きんでん)	<u>田口 昌慶 (関電工)</u> 橋本 佳明 (橋本電気)	佐口 紀浩 (日本電設) 福田 哲也 (大成電気)
<u>足利 祐典 (きんでん)</u> 坂本 淳 (道タツヲ) 三好 充博 (協信電気)	有本 純 (北電力設) 嶋田 幸規 (北弘電社) 若宮 昇平 (拓北電業)	内田 勝久 (北海電工) 細野 隆平 (橋本電気)	片平 友樹 (浅海電気) 本間 勝行 (アイリンク)
<u>堀岡 貢司 (旭日電気)</u> 富山 泰行 (末廣屋)	太田 展浩 (北弘電社) 松井 良一 (札幌日信)	川口 博 (北海電工) 宮森 慎一 (拓北電業)	佐々木 勇 (東光電気)
大塚 雅史 (北盛電設)	嶋田 幸規 (北弘電社)	藤井 大樹 (でんこう)	吉田 岳夫 (北海電工)
ゴルフ部会	(長) 吉田 岳夫 (北海電工) 片平 友樹 (浅海電気) 豊 友祐 (北札電設)	石田 啓二 (山口電気) 木村 賢史 (道タツヲ) 田中 由彦 (システム)	稲津 亘 (北盛電設) 桜庭 謙次 (北電力設) 松井 良一 (札幌日信)
野球部会	(長) 嶋田 幸規 (北弘電社) <u>釜石雄一郎 (東光電気)</u>	<u>足利 祐典 (きんでん)</u> 木村 裕介 (北海電工)	片平 友樹 (浅海電気)
ボウリング部会	(長) 藤井 大樹 (でんこう) 細野 隆平 (橋本電気)	坂本 淳 (道タツヲ)	福田 哲也 (大成電気)
歌唱部会	(長) 大塚 雅史 (北盛電設) 向平 義美 (北弘電社)	佐藤 貞治 (北海電工) <u>尾形 武志 (協信電気)</u>	塚田 清 (関電工)

事務局日誌

【2月】

- 13日(木) ○ 第11回三役会議
○ 電設業関連4団体懇談会
(ニューオータニイン札幌)
- 14日(金) ○ 苫小牧電業協会技術講習会(座学)
(苫小牧市文化交流センター) 長内事務局長
- 26日(水) ○ 電設協本部・支部事務連絡会議
(電設協本部) 鎌田事務局長
- 道空調衛生工事業協会総会懇親会
(京王プラザホテル) 藪下会長
- 28日(金) ○ 歌唱部会第2回厚生行事

【3月】

- 10日(月) ○ 第12回三役会議
○ 建設業の働き方改革に関する講習会
(ニューオータニイン札幌) 藪下会長他
- 11日(火) ○ 第4回総務委員会
○ 第319回本部政策委員会
今野経営副委員長
- 13日(木) ○ 第3回技術安全委員会
○ 札幌弱電設備業協同組合意見交換会
(ライフォート札幌) 萩本副会長
- 14日(金) ○ 本部運営委員会 藪下支部長
- 18日(火) ○ 第7回理事会・常議員会
- 19日(水) ○ 本部理事会・定例懇談会
(キャピトルホテル東急) 藪下支部長
- 第3回経営委員会
- 第4回広報委員会
- 25日(火) ○ 厚生委員会ゴルフ部会第4回幹事会
- 26日(水) ○ 北海道建築士事務所協会意見交換会
(札幌ガーデンパレス) 国井副会長
- 27日(木) ○ 経営者懇談会・セミナー
(札幌グランドホテル)
- 28日(金) ○ 第2回厚生委員会

【4月】

- 8日(火)~11日(金)
○ 技術・安全衛生基礎教育講習会
- 10日(木) ○ 第1回三役会議
- 15日(火) ○ 令和6年度監事監査
- 22日(火) ○ 釧根電業協会技術講習会(座学)
(釧路市民文化会館) 長内事務局長
- 25日(金) ○ 第1回理事会・常議員会

【5月】

- 14日(水) ○ 第2回三役会議
○ 顧問会
(ニューオータニイン札幌)
- 15日(木) ○ 北海道電気資材卸業協同組合総会
(ニューオータニイン札幌) 萩本副会長
- 16日(金) ○ 本部運営委員会・理事会
(キャピトルホテル東急) 藪下支部長
- 21日(水) ○ 札幌電設業協会総会後の意見交換会
(札幌ビューホテル) 藪下会長
- 23日(金) ○ 札幌電気工事業協同組合通常総代会
(ニューオータニイン札幌) 藪下会長
- 27日(火) ○ 道電協第59回・電設協道支部第69回
定時総会(札幌グランドホテル)
- 第320回本部政策委員会
今野経営副委員長
- 28日(水) ○ JECA FAIR 2025
(インテックス大阪)
- 29日(木) ○ 第1回広報委員会

編集後記

このたび、会報誌206号の巻頭言を、札幌市都市局建築部設備担当部長 齋藤 健様よりご寄稿いただき誠にありがとうございます。齋藤様のお話にもありましたが、昨年度は札幌市を含む北海道がGX金融・資産運用特区に決定され、国家戦略特区の指定を受け、雇用・新技術・イノベーションの創出等が期待されます。

千歳市内の次世代半導体製造拠点「ラピダスIIM-1」では、世界最小となる2ナノ半導体の試作ラインを4月より稼働させました。半導体の量産、関連産業の集積、人材育成の拠点形成等、人流や物流の増加が見込まれ、道内への経済波及効果が大きく期待されます。

今大阪では大阪・関西万博が開催されています。未来の社会を創造する空間が演出されており、大変盛り上がっています。われわれ電設業界も持っているノウハウをフルに活用して、明るく元気で未来ある北海道を創造していきます。

広報副委員長 松岡 孝夫

広報委員会

担当副会長 萩本 哲夫
委員長 木村 賢史
副委員長 大塚 雅史
副委員長 松岡 孝夫

委員 足利 祐典
委員 有本 純
委員 内田 勝久
委員 片平 友樹

委員 坂本 淳
委員 嶋田 幸規
委員 細野 隆平
委員 本間 勝行

委員 三好 充博
委員 若宮 昇平
オブザーバー 嶋津 博

表紙の花『すずらん』：小さな花がうつむくように複雑に連なって咲く、ひっそりした可憐な姿が人々に愛されています。北海道の代表的な花ですが、昭和35年には札幌市の花に選ばれています。



発行 令和7年6月
一般社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区北1条東3丁目1-1
北電興業ビル4階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp
URL:http://www.dodengyo.jp/

